

仕 様 書

- 1 業務名
豊平館外部修繕業務
- 2 対象施設
豊平館（札幌市中央区中島公園1－20）
- 3 業務期間
契約の日から、令和9年1月27日（水）まで
- 4 修繕内容
 - (1) 西バルコニー持ち送り修繕（資料①）
 - ・持ち送りについて、部材の腐朽及び虫害による内部空洞化が確認されるため、再度調査を実施した上で交換範囲を確定させること。空洞箇所を切断・撤去し、既存と同様の材種（タモ）にて新規製作した部材を接着により設置すること。なお、健全部については極力残すよう留意すること。
 - ・幕板の劣化部位については、既存と同様の材種（タモ）を用いて交換を行うこと。
 - ・塗装については、既存塗膜の浮き等をケレンにより剥離し、幕板と併せて新規塗装を施すこと。
 - ・塗装に用いる顔料は、豊平館保管の資料及び色サンプルを基に既存塗膜と照らし合わせて配合量を決定すること。また、塗装前にはボイル油を塗布すること。
 - (2) 東側棟飾り（資料②）
 - ・腐朽部と健全部を取り外す。腐朽部については破棄とする。健全部を使用して形取りし、部材を再製作する。使用する部材は既設と同様のタモ材とする。
 - ・塗装については、交換部を塗装する。
 - ・塗装に用いる顔料は、豊平館保管の資料及び色サンプルを基に既存塗膜と照らし合わせて配合量を決定する。また、塗装前にはボイル油を塗布する。
- 5 一般要領
 - (1) 本業務を実施する際には、担当課と施設の指定管理者と十分打ち合わせを行い、承認を得た上で、施設運営に支障のないよう円滑な進行を計ること。なお、業務従事者は十分な経験を有した者が実施すること。
 - (2) 本施設は国指定重要文化財のため、建物の保存管理に影響を及ぼすことのないよう、細心の注意を払うこと。
 - (3) 業務完了後の清掃、片づけ等については、確実に実施すること。
 - (4) 本業務の遂行にあたり関係法令を遵守すること。
 - (5) 作業中は「作業中」「注意」の看板等を標示するとともに、通行人の安全確保について十分に注意すること。
 - (6) 資材運搬車や高所作業車の搬入で中島公園内を走行する場合は、建設局みどりの管理課への届け出を行い、日程の調整等を行うこと。
 - (7) 塗装に用いた顔料が一部余った場合は、以後の修繕時に使用する目的で適切な場所に保管すること。保管場所については指定管理者の指示に従うこと。
- 6 受託者の負担の範囲
 - (1) 修繕に必要な工具、及び保安材料、消耗部材等についても受託者の負担とする。
 - (2) 塗装に用いる顔料は、受託者にて準備（18L缶）・使用すること。なお、乳白色は調合ペイント白亜鉛B白を原色のまま使用し、ウルトラマリンブルーは、豊平館保管の資料および過去に既存塗膜と照らし合わせて決定した顔料配合量を参考に調合したものを使用する事。
 - (3) 発生した廃材等の処理・処分に当たっては、受注者が責任を持って適正に廃棄すること。
 - (4) 産業廃棄物の処分が終了したときは、直ちにマニフェストD、E票又は電子マニフェ

ストの処分終了報告コピーを添付し、委託者に提出すること

7 提出書類

提出書類	部数	提出期限	備考
業務完了時 ・業務完了届 ・業務報告書	1 1	完了と同時に 工期末	修繕の詳細および写真など

提出書類はすべてA4サイズとする

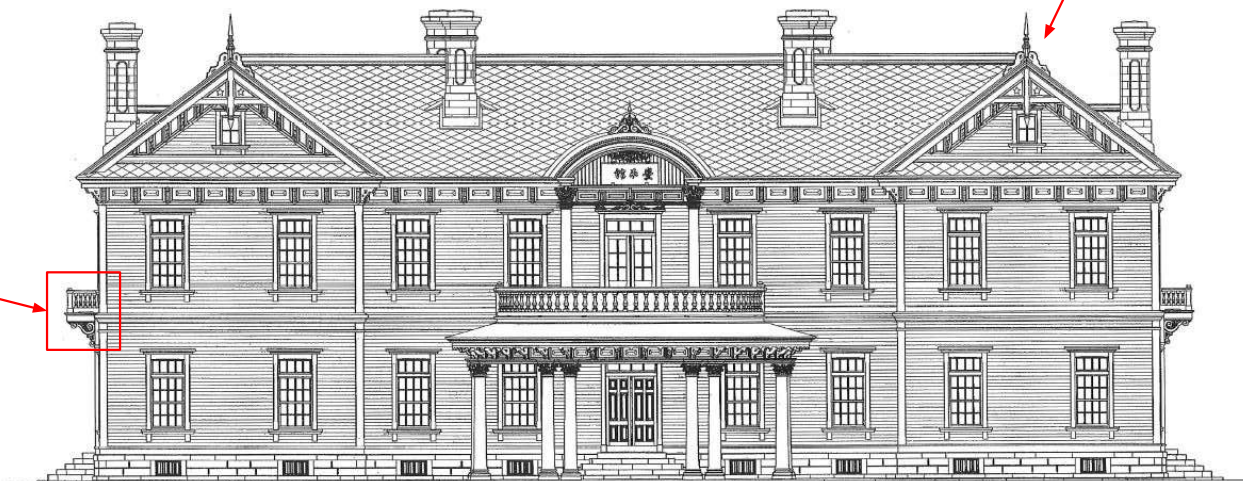
8 写真撮影要領

使用材料、作業内容、工程が具体的に掌握できるように撮影すること。

修繕箇所図

○東側バルコニー
・棟飾り交換・塗装

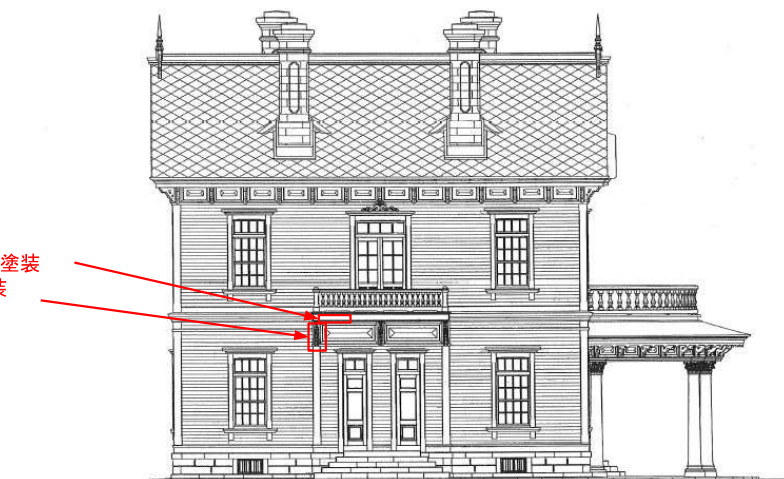
○西側バルコニー
・持ち送り一部交換、塗装
・幕板一部交換、塗装



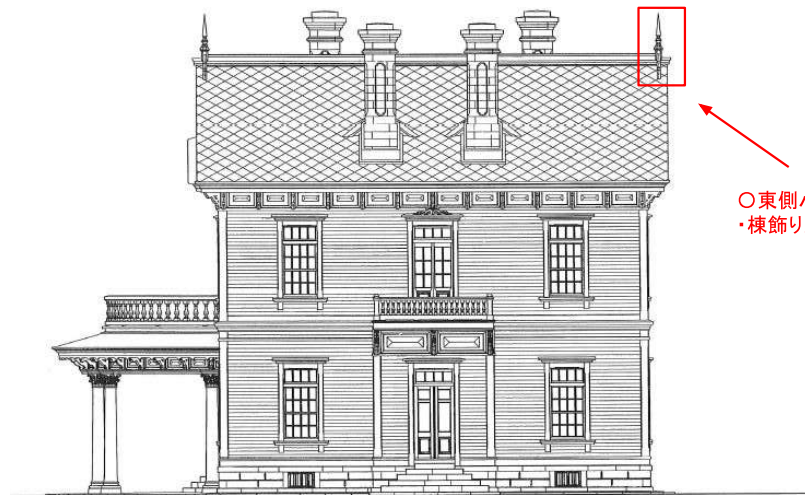
正面

○東側バルコニー
・棟飾り交換・塗装

○西側バルコニー
・持ち送り一部交換、塗装
・幕板一部交換、塗装

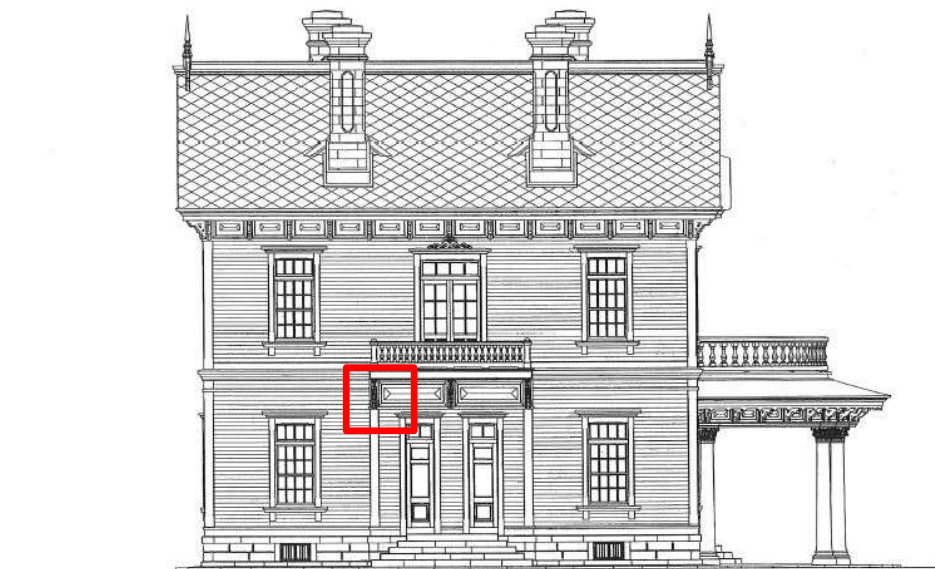


西側側面



東側側面

西側バルコニー持ち送り、幕板 現況



西側側面



持ち送り・幕板破損前

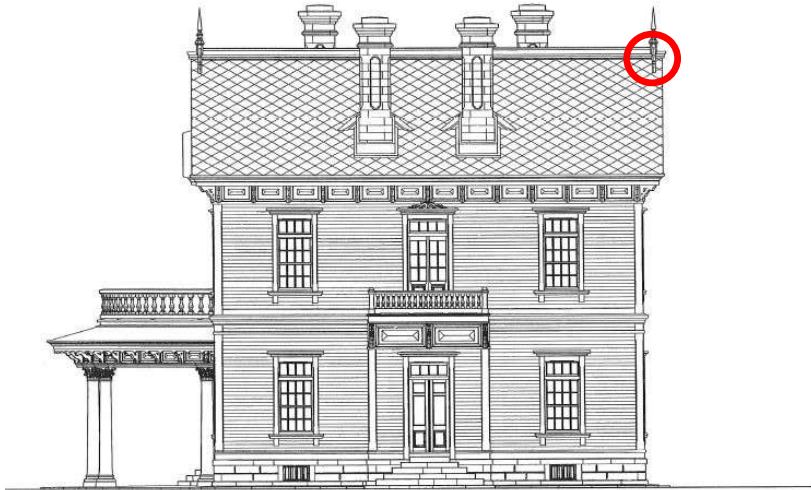


破損後①



破損後②

東側棟飾り 現況



東側側面



棟飾り破損状況①

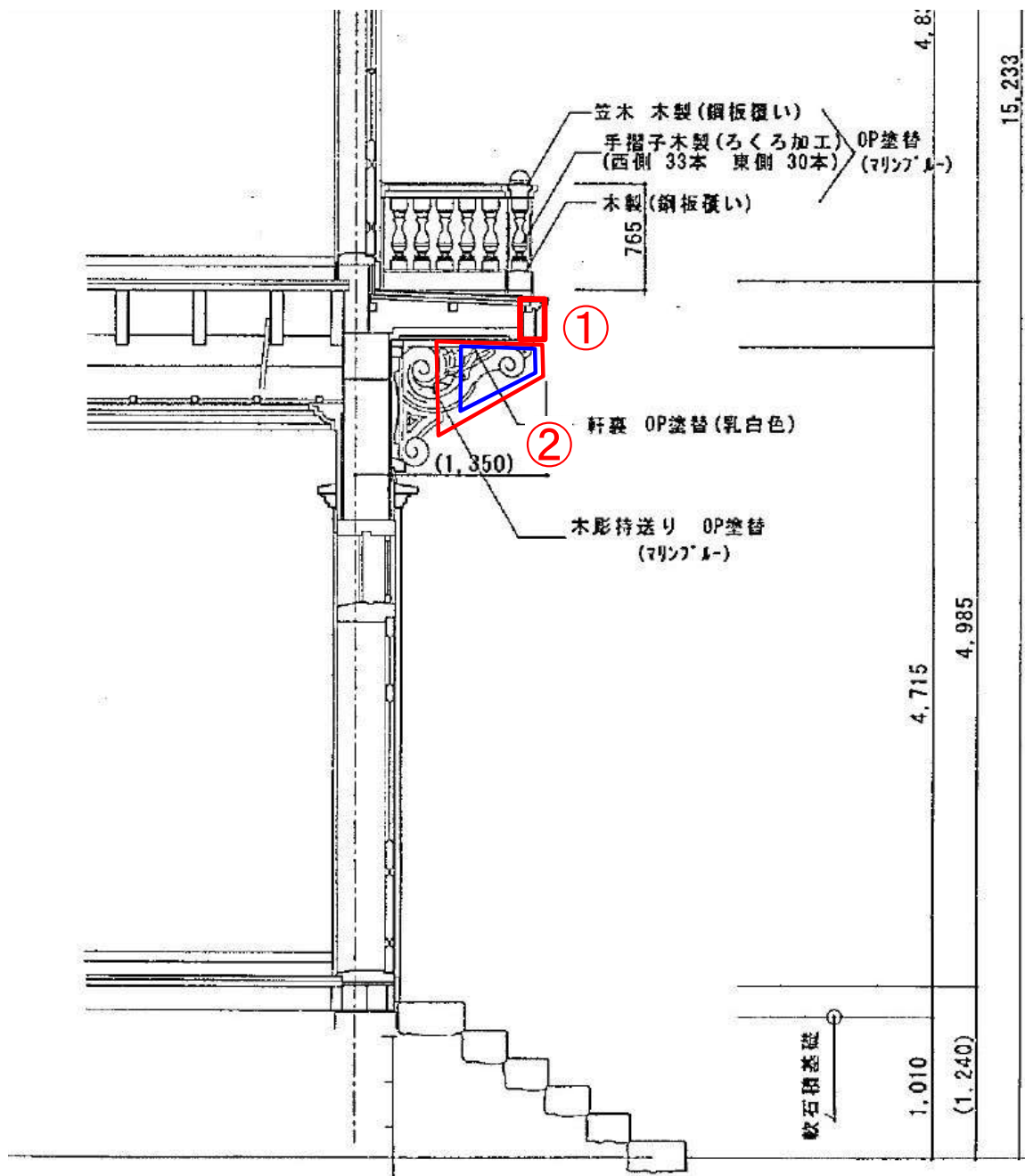


棟飾り破損状況②



棟飾り破損状況③

資料①



— : 破損範囲

— : 修理範囲

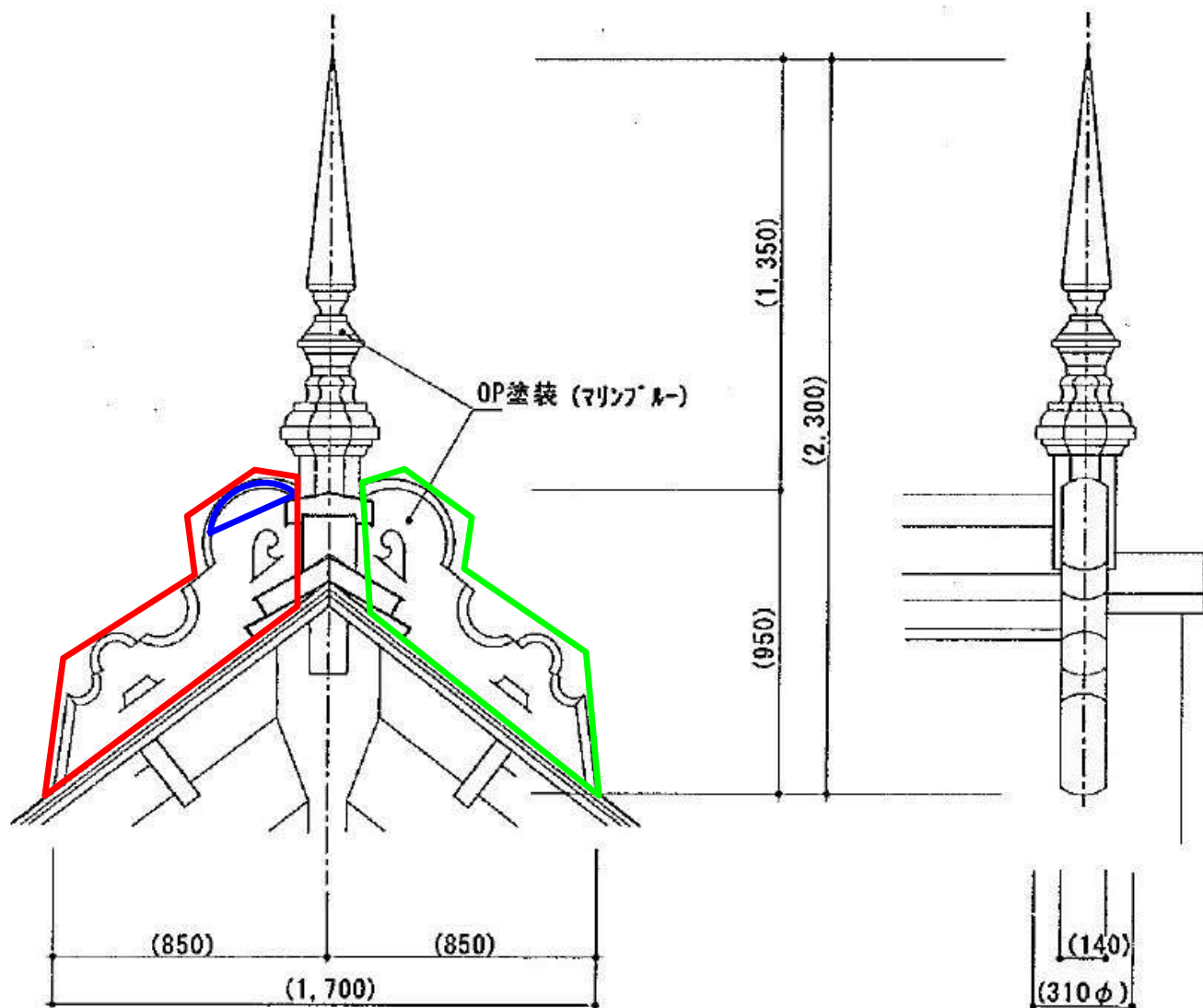
①: 幕板

劣化の見られる幕板を交換(タモ材)。設置後、塗装は交換範囲。

②: 持ち送り

虫害範囲を再確認。影響範囲を撤去後、撤去部を再製作(タモ材)し接着剤で設置。設置後、健全部をケレンし、再塗装。

資料②



— : 破損範囲

— : 修理範囲

— : 形取り範囲

・棟飾り

破損した部分(赤枠)と健全部(緑枠)の部分を取り外し。

赤枠の部分は腐朽部を撤去し健全部をできるだけ再使用する。緑枠の部分を使用して形を取り、撤去部を再製作し、接着剤で接合する。設置後、健全部をケレンし、全体を塗装。